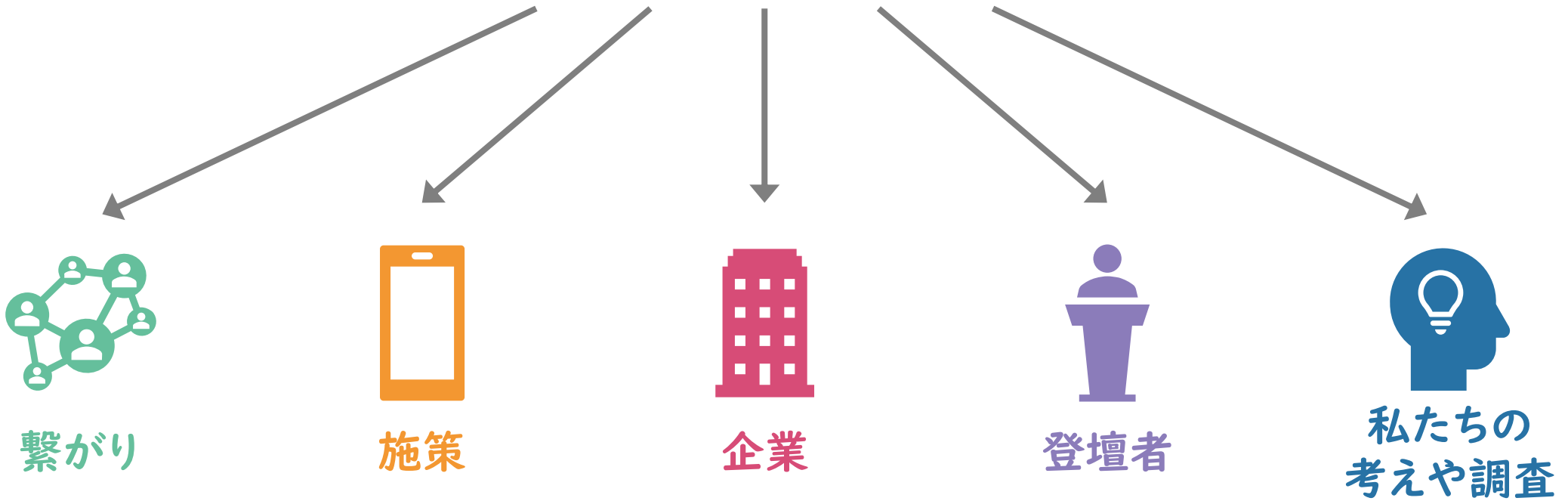


■2/14のユニバスコンベンションでいただいたご意見

イベント中のポストイットのご意見 46

参加後のアンケートのご意見 52





繋がり

- ✓ 合流ができる機会をいただき、ありがとうございました。とても大切なつながりだと思いますし、これからも仲間が増えることを楽しみにしています！
- ✓ 横のつながりはなかなかないので、ありがたいです！
- ✓ 多くの人が集まり、すばらしいと思いました。みんなで協力することにより大きな力になるかと思います。
- ✓ たくさんの団体が集まると未来は明るいと感じました。
- ✓ たくさんの方とつながる機会をくださってありがとうございました
- ✓ 活動団体ではなく、後方から支援する団体として、どこに資金的支援があれば良いかを深く考える機会になりました。
- ✓ 選択肢を広げたくて見にきました。地元の人にも伝えたいと思います。
- ✓ 同じようにユニバspb支援に取り組んでいる団体の方と繋がる機会にもなりました。
- ✓ 沢山の繋がりのもとで、子どもたちの未来を素敵なものとしたい。
- ✓ 子どもだけをみるのではなく、社会全体で考えていく大切さを学びました。
- ✓ 香川県での一丸となつての取り組み、本当に素晴らしいです。
- ✓ ユニバspbさんを支える支援団体がたくさんあることがわかりました。これから必要だと思ったのは、どこのメニューを使うか、どういう風に支援をすればいいかを整理し、その支援団体の特徴をつかんでいくことだと思いました。
- ✓ ユニバspbさん同士を繋いで、今、塞ぎ込んでる方に、未来を描けるようにするのは、とても良いなあと感じました。
- ✓ 支援者同士で交流でき、他の支援者さんの活動内容を知ることができて良かったです。
- ✓ 一人で抱えず、みんなで支え合う。そんな姿勢が回り回って当事者に伝わっていく！！



施策

- ✓ ユニパスバンクアプリ楽しみます！親の会の参加者さんに少しでも情報を繋げられたらと思って参加しました。
- ✓ すごくいい機会だったです。アプリの作成とかなどとても楽しみにしています。
- ✓ アプリの開発・普及を心まちにしています。
- ✓ ユニパス支援のアプリは、自分が「生きづらい」のか、またなぜ「生きづらいか」など、ユニパスさんの中でも自分が気づいていない人にも支援が届きやすく、課題解決しやすいと感じた。
- ✓ ユニパスさんを社会へと復帰させるための支援の手段は、情報社会の中で進化しているのだと思った。AIを活用した相談をするアプリなど気楽に話すことができる対象があることで、動き出すための情報自身が得られるのは素晴らしい。
- ✓ 見えない生きづらさに気づいてもらえないこと、気づかないことに対する難しさの解決の糸口にアプリを利用できる。
- ✓ ユニパス支援のアプリは、自分が「生きづらい」のか、またなぜ「生きづらいか」など、ユニパスさんの中でも自分が気づいていない人にも支援が届きやすく、課題解決しやすいと感じた。

- ✓ 誰もが安心して相談できる環境づくりや、支援につながる情報発信の重要性をあらためて実感しました。
- ✓ ただ居場所づくりをすればいいと言うのではなく、中身が重要だと言うことです。
- ✓ ユニパスさんの香川県アンケート結果で、「情報がほしい」という希望が一番多いことにびっくりした！
- ✓ ユニパスさんが認識を変えるために、ゆっくり休むことができる（安心して）」「休ませてあげたい」という休む期間の必要性を社会全体で学習・理解していけるよう。
- ✓ 同じ原因で同じ悩みを抱える人でも感じ方や気持ちは異なるので、一人一人に対応した支援や相談が必要だと思った。



企業

- ✓ 企業とつながることはとってもとっても難しい。
ユニバspbなどの社会課題に興味を持ってくれそうな企業はなかなか見つからない。ビジネスの枠組みではない概念でいくからダメなのか？
- ✓ 私たちはお金に検質できない活動に共感してくれる企業を出会いたいがとても難しい。
- ✓ 「企業とのつながり」盲点だったけど本当に大事。
- ✓ 企業を含めた多様な連携、合流ができる機会をいただき、ありがとうございました。
- ✓ 企業も巻き込みながらAIを活用して支援の仕組みを広げていく取り組みは、社会全体で生きづらさに向き合うための大きな一歩になると感じています。
- ✓ 企業とのつながりを強調されて取り組まれているところです。企業を巻き込んだ支援をすると言う事は、これからの方向性として重要だと感じました。
- ✓ しょうがいや特性に理解がある企業が増えることがのぞましい。
- ✓ 本来なら行政がやるべきことを、たくさんの民間の方が担ってくださっている。



登壇者

- ✓ 古市さん、万央さん、高橋さんのお話に、とても考えさせられました。
- ✓ 体験談の方にじかに会ったことが大変印象に残っています。
- ✓ 自身のことをたくさんの人の前で話すことは、とても勇気がいるし緊張されることだと思います。
- ✓ 誰もが何かのユニバspbであることを共有できた気がします。
- ✓ ユニバspbさんの説明を聞いて、私もこどものころ、生きづらさを持っていたことを思い出しました。
- ✓ 万央さんのお話の仕方、とっても分かりやすかったです。順序だててお話しされているので、伝わりやすい！
- ✓ パネリストの万央さんがとてもよい笑顔のあるきれいな女性に成長されて、とても嬉しく思いました。
- ✓ 自分のことをしっかり説明されて、他のユニバspbのために何かしようとする意思是「すごいなあ」と思いました。
- ✓ 万央さん、見えない原因を分かってもらうには、コミュニケーションを取る勇気が必要ですね。その一歩を自分から作っていきたいと思いました。
- ✓ まおさん、あなたはとても魅力的、自信をもって。声をかけたいです。
- ✓ 高橋さんの「生きづらい」と思ったことはなかった。でも、起きられない時、視野が狭いとき時があったという言葉に、“生きづらい”と自覚なく生きづらくなっている子も多いんだろーうと思いました。
- ✓ 古市さんの「しゃべることが嫌いなわけではなかった」ということを聞いて、☆好きなことにできることではないんだなと、自分の思い込みに気づきました。



私たちの考えや調査について

- ✓ ユニバspbさんとは、事象だけをみるのではなく原因、認識も含めて背景にも目を向けていくことが大切だとわかりました。
- ✓ 事象として現れなくても、原因・認識のしんどさをいったりきたりする若者の苦しさを日々感じながら支援しています。
- ✓ “生きづらい”と自覚なく生きづらくなっている子ども多いんだろーと思ひました。
- ✓ ユニバspbさんと言ふ言葉の定義がとても素晴らしいと思ひます。生きづらさを持った方々を全て包括した言葉だと思ふ。
- ✓ 自分の生きづらさをまだ認識していない子どもに対してもセーフネット的役割になると感じ、大きな意義がある活動だと思ひました。

- ✓ 貴重な調査結果。支援モデル、今後の展望をお教へいただき。勉強になりました。二回目が楽しみです。
- ✓ ご報告のあったアンケート調査の結果は、行政や報道機関などを通じて多くの方に知っていただきたい、価値ある内容だと思ひます。
- ✓ 生きづらいと感じる人が3割を占めているのには驚いた。
- ✓ 子どものアンケートにはショックを受けました。

- ✓ 特に大学、就職について、子どもも自分も末永く相談していけたらと思ひます。
- ✓ 右目で子ども、左目で社会の変化を捉える思考が必要と言葉を聞き、ユニバspbさんに向き合うだけでなく、社会にも目を向けなければならないと感じました。
- ✓ やはり、まずは知ってもらふ事だなと思ひました。
- ✓ しょうがい者雇用をひろげてほしい。



生きづらさを抱える子どもたちが孤立せず、
安心して自らの道を歩んでいける世の中を創る



ユニパスさんと未来をつなぐプロジェクト



今回のアンケート結果やポストイットのご意見を拝見すると、みなさまからのご期待は

「繋がりを増やし、ユニパスさんにできることを増やしたい」

「ユニパスアプリが課題解決の一つになる」

「共感し、一緒に活動してくれる企業に出会いたい」

「当事者の声をもっと社会に届けたい」

という4点に集約されると思います。

そして、そう思いいただいた理由は、私たちの考えや調査結果に一定程度賛同してくださったからではないかと思いました。

一方で、私たちだけで活動を継続し、成果を出すことは困難です。

これからもユニパストークやユニパスコンソーシアム、ユニパスアプリへの要望のご意見などを通じて、一緒に活動して下さることを願っています。共にユニパスさんと未来をつないでいきましょう！